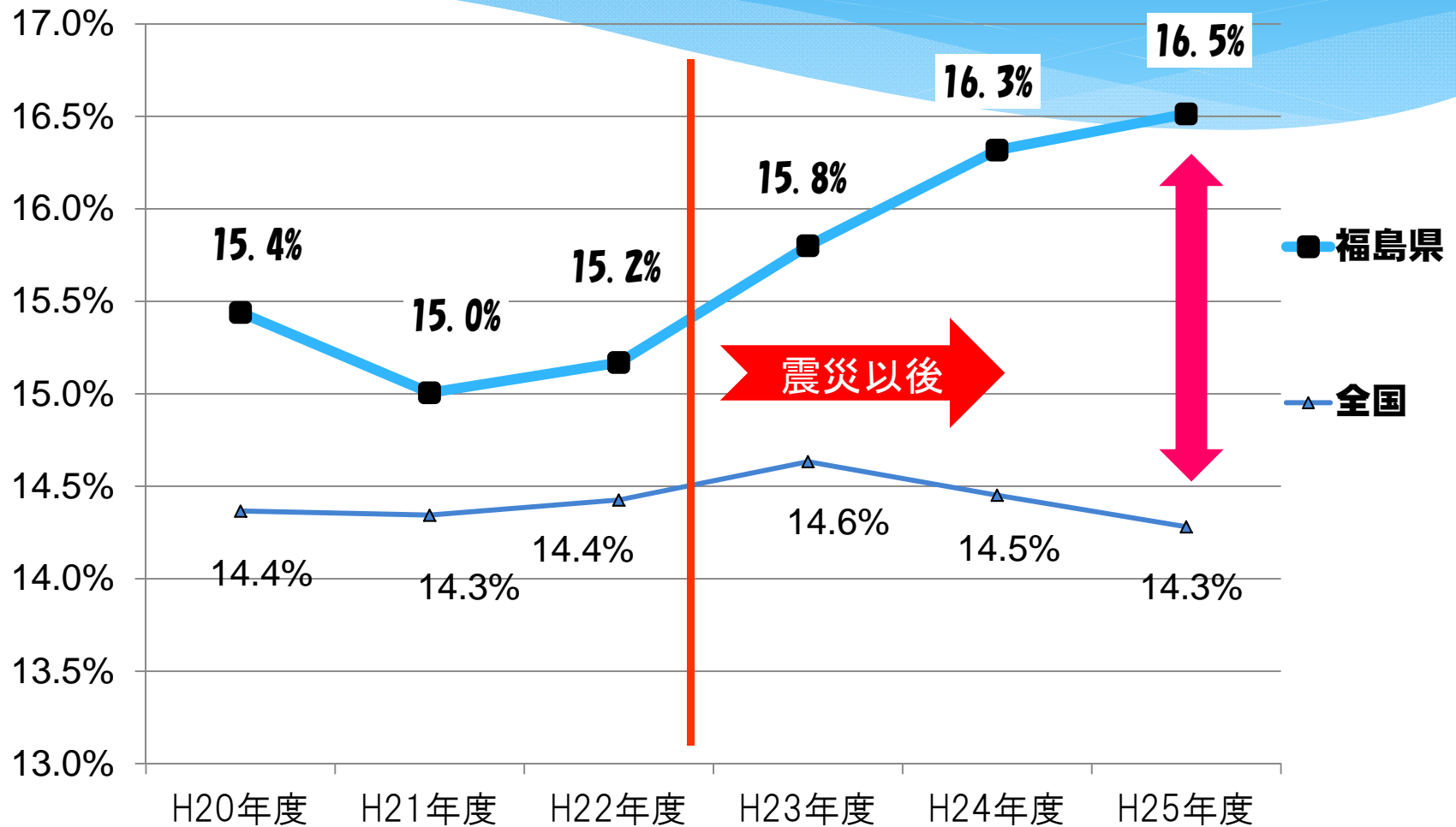


メタボリックシンドローム割合

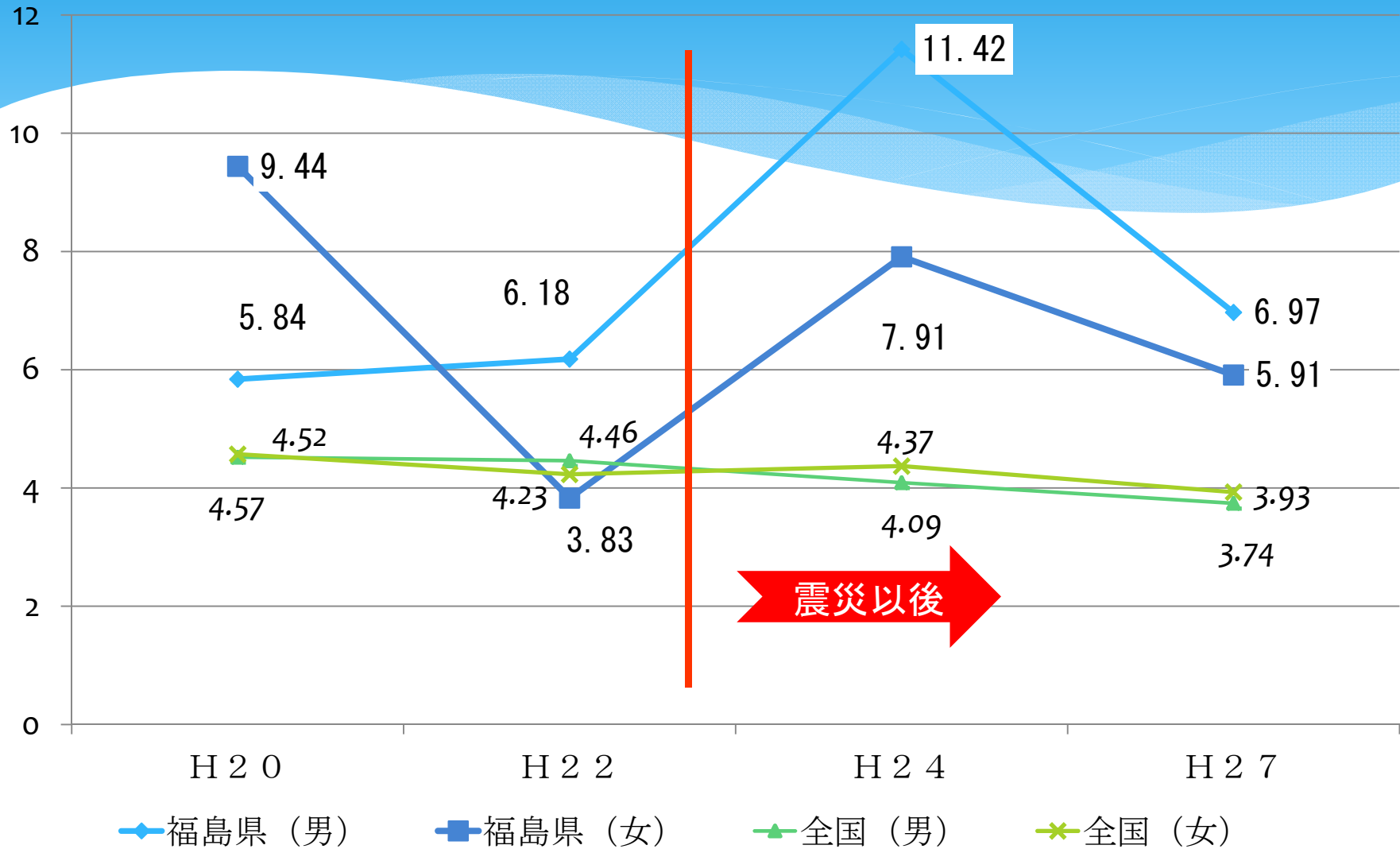
出典:特定健康診査・特定保健指導の実施状況

メタボリックシンドローム該当者割合



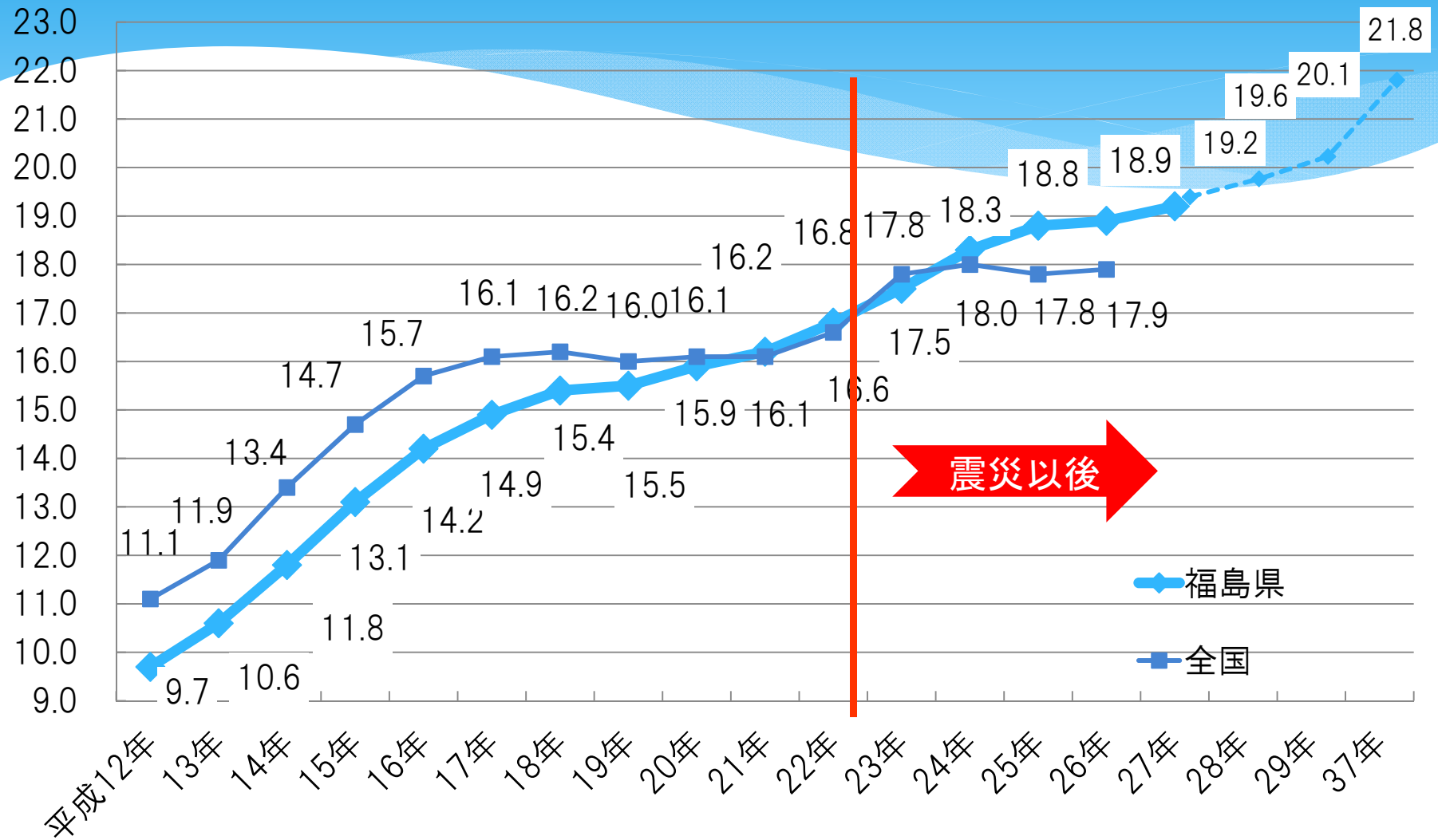
6歳児の肥満傾向児の出現率

出典：学校保健統計調査



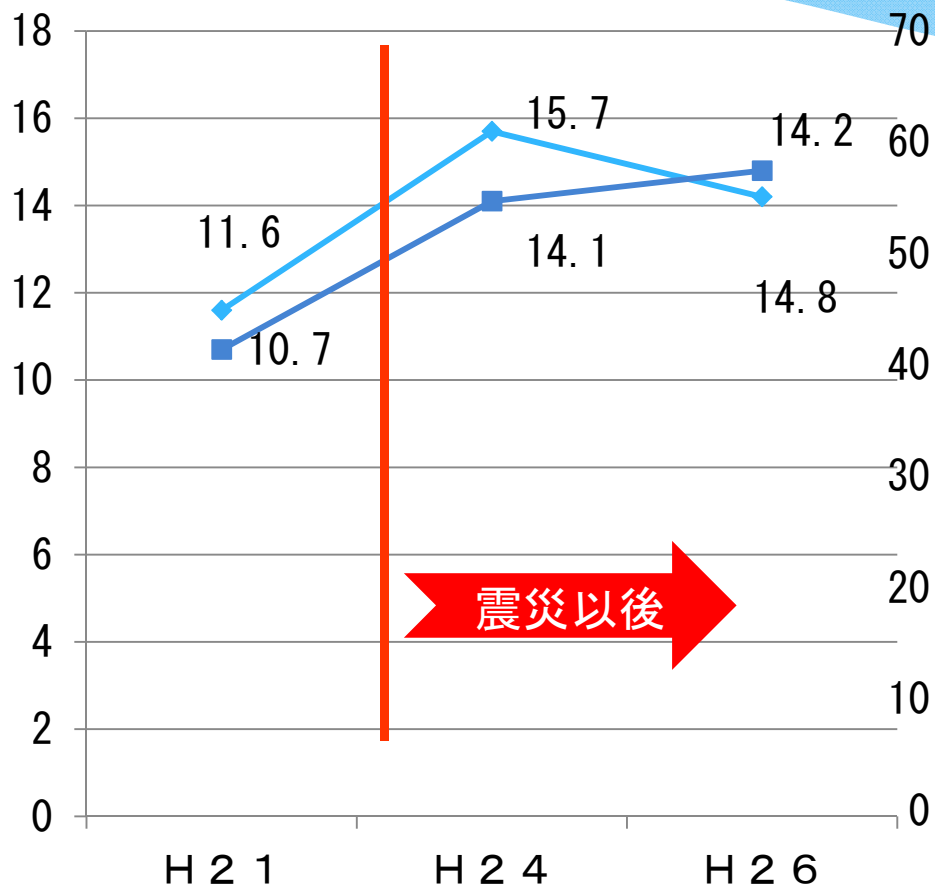
要介護認定率の推移（65歳以上）

出典：ふくしま高齢者いきいきプラン



1日の間食回数が 3回以上の割合

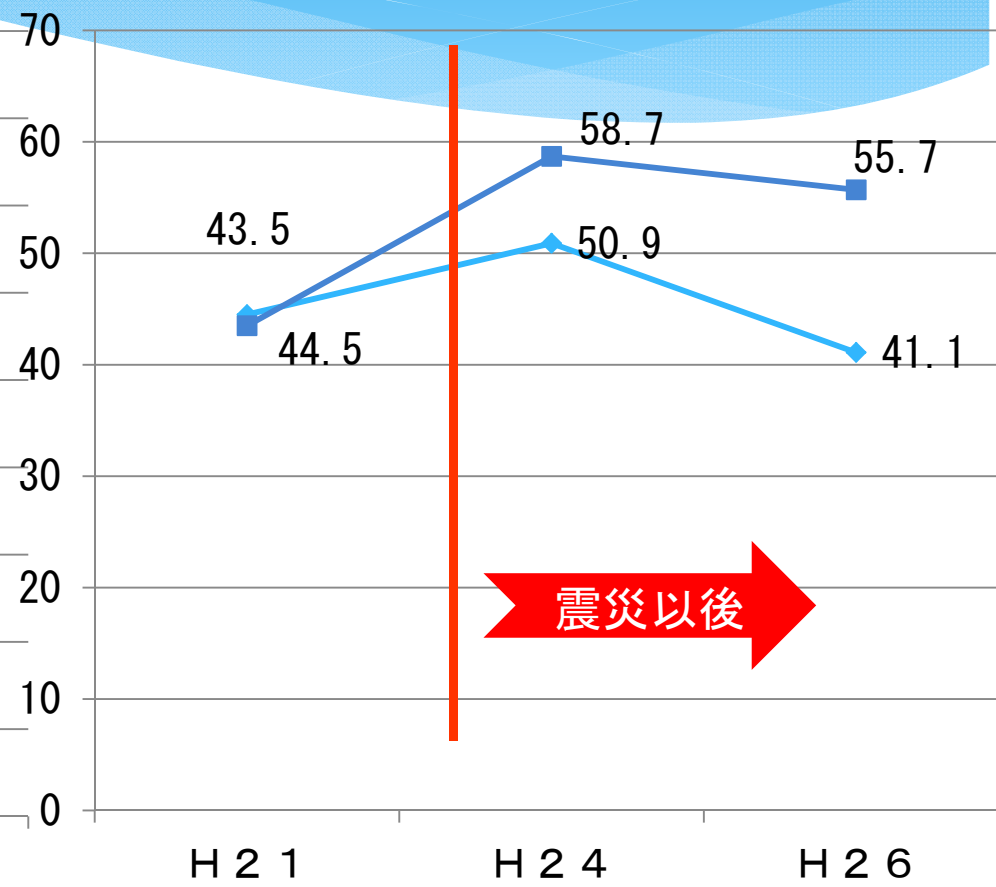
出典：乳幼児健診の状況より



◆ 1歳6ヶ月 ■ 3歳

甘味飲食物の 摂取状況

出典：乳幼児健診の状況より



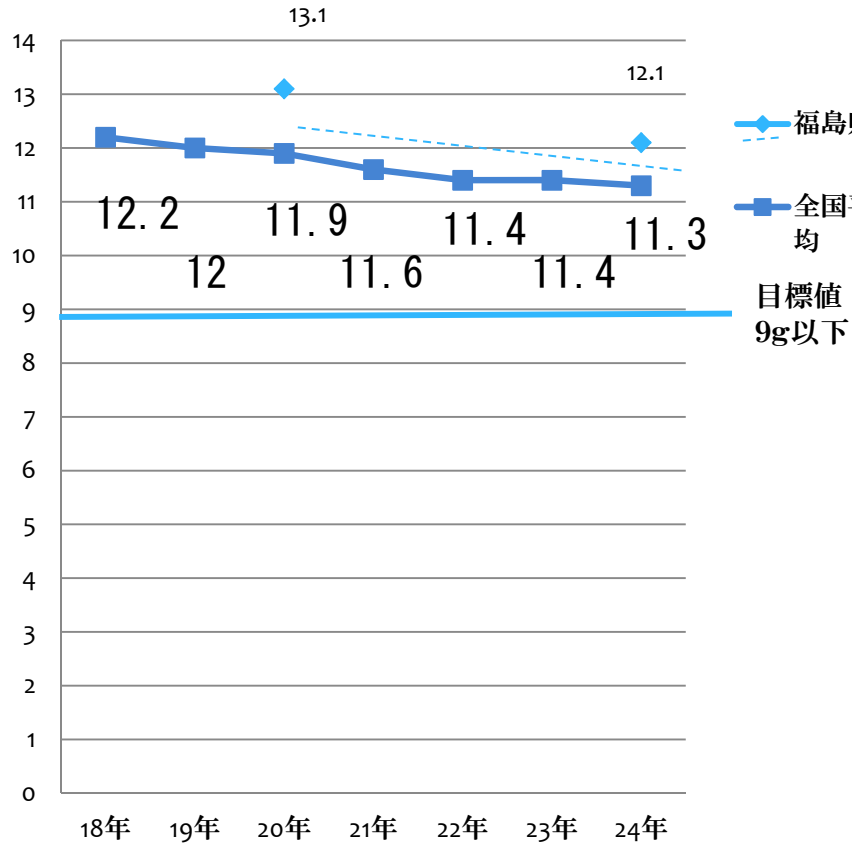
◆ 1歳6ヶ月 ■ 3歳

食塩摂取量が多い

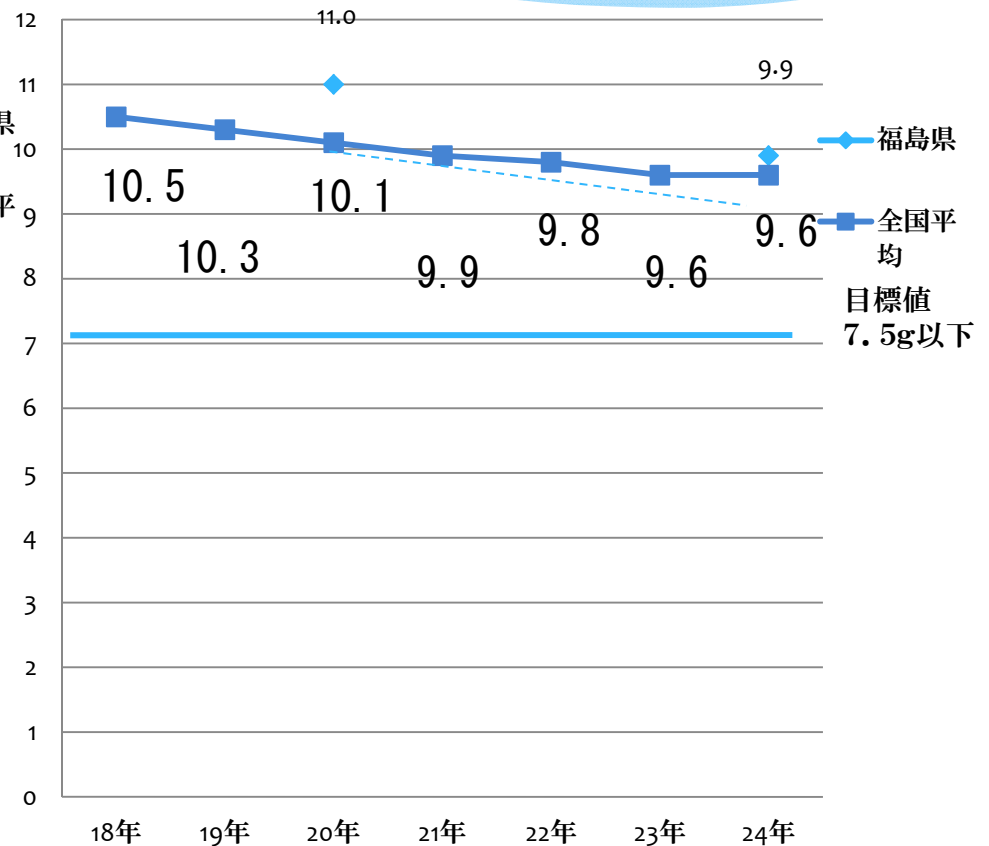
出典：国民健康・栄養調査結果より

福島県民の食塩摂取量は、震災以降減少傾向にあるが、目標値より多く摂取している。

食塩摂取量(男性)



食塩摂取量(女性)



福島県の現状は

震災や原子力災害の影響等による「生活環境の変化」

- 運動量や活動量の低下
- 野菜摂取量の減少
- 調理済み食品や菓子利用の購入金額の増加や間食回数の増加
- 食塩摂取量が多い



.

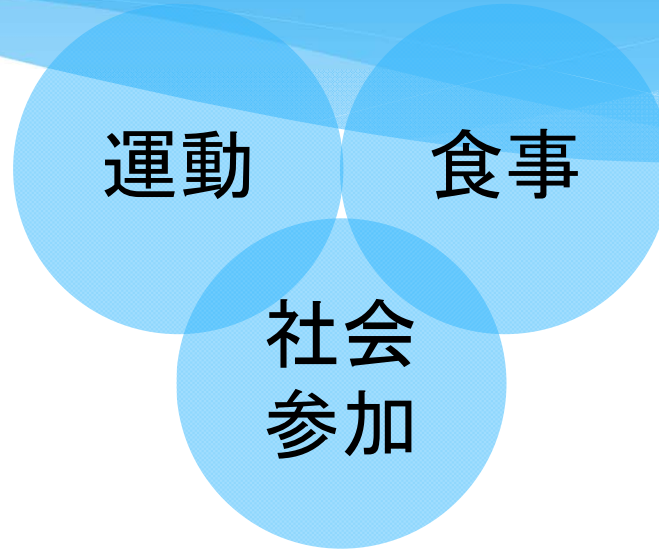
その結果

- (1) メタボ該当者や要介護高齢者の増加
- (2) こどもの肥満児出現率が高い
- (3) 生活習慣病（心疾患や脳梗塞、脳血管疾患、脳梗塞）の死亡率が高い
- (4) 健康寿命が短く、全国順位も低下
- (5) こどものむし歯有病率

そこで、県として

- ① 個人へのアプローチ
- ② 社会（環境）を巻き込んだアプローチ

健康長寿への 3原則



県民一人一人がいきいきと元気で暮らせる地域（社会）づくりが課題である。

県民・行政・民間が一丸で『健康ふくしま みんなで実践』県民運動へ

**全国に誇れる健康長寿県
（健康な県（地域）づくり）を目指す!**